

# はばたきインクル支援だより



深谷はばたき特別支援学校 令和元年6月3日 No.10



6月になり、子どもたちも落ち着いて授業に取り組めるようになってきたと思います。一方で、どう対応してよいかわからない子どももいるかもしれません。怒りたくないのに、つい声を荒げてしまうことがあるかもしれません。「本当は子どもたちの声に耳を傾け、楽しく過ごしたいのに、怖い先生になって収めないと学級運営がうまくいかない」など、誰にも相談できず、苦しい思いをしている先生方もいらっしゃると思います。今回から数回に分けて「ティーチャーズ・トレーニング」をご紹介します。これは「ペアレント・トレーニング」を原型にした、教員向けのプログラムです。子どもと先生方の間で生じる「マイナスの流れ」を断つことが目的で、子どもを変えるのではなく、大人の対応を見直すことで、新しい関係を再構築していくものです。今回は、参考図書として『保育士・教師のためのティーチャーズ・トレーニング』『発達障害のペアレント・トレーニング』（どちらも中央法規発行）を使っています。

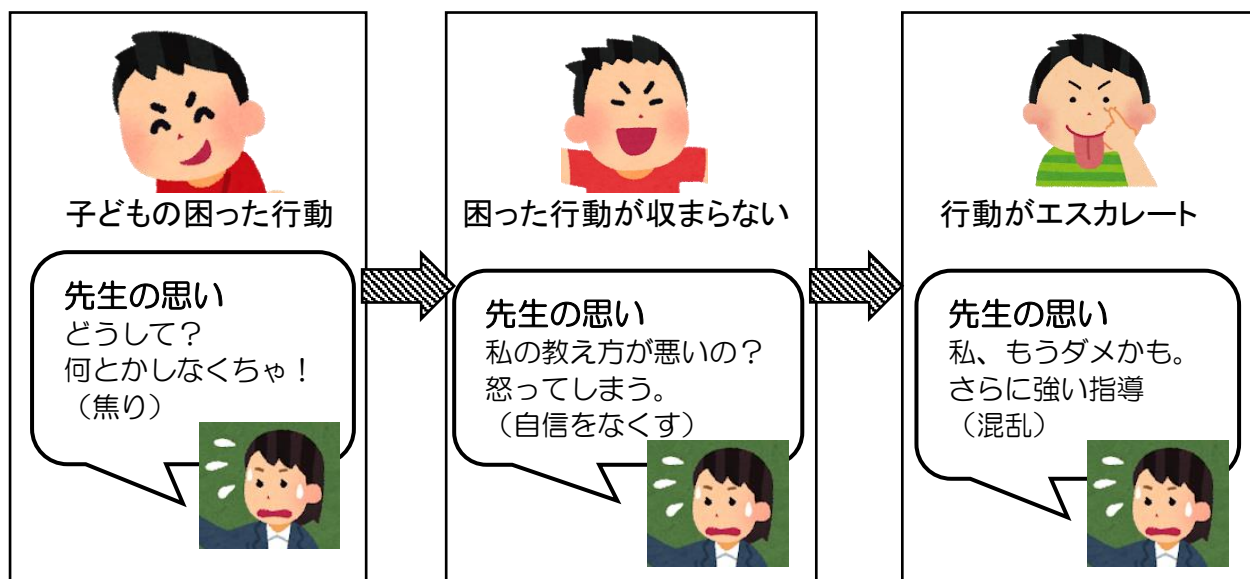


## 特集 ティーチャーズ・トレーニングを学ぶ①

### 1. 「マイナスの流れ」って何？

「障害は個人に属する」との過去のとらえ方から、「障害は個人にのみ属するものでなく、周囲の人々や社会との関係の中に存在する」と大きく変わりました。周囲の人の接し方次第で、障害の状態が悪くなってしまうこともあります。それは、子どもたちの身近にいる保護者や教員も例外ではありません。

マイナスの流れの例を上げてみます。



指導がうまく行っていないと感じた時に、次の点で見直してみてください。

- ① その指導で、子どもの行動は改善しているか？単に力で抑えてしまっているようなことはないか？他の先生だとうまくできていたりしないか？
- ② 子どもは、叱られていても自分の行動をどうすることもできないのではないか？
- ③ 子どもは自分がその行動を取ると、相手はどう感じるかに、関心がないのではないか？
- ④ 先生から注意されることで、先生の関心を引き、そこでのやり取りを楽しんでしまっていないか？
- ⑤ 先生はその指導で自信を失ったり、悩んだり、子どもに対して不適切なかかわりをしそうになってしまいそうなことはないか？

このような時には、このマイナスの流れを断ち切る必要があります。ティーチャーズ・トレーニングを活用してみましょう。

## 2. 行動を3つに整理する。

人の行動には A 先行状況(行動の引き金)→B 行動→C 結果があります。ティーチャーズ・トレーニングは C 結果を変えることで、子どもの好ましくない行動を減らしていく考え方で、ティーチャーズ・トレーニングには次の4つのステップがあります。

- ① 子どもの行動を3つに分ける。
- ② 肯定的な注目(ほめる)を与える。 → ほめることで、好ましい行動を増やす。
- ③ 好ましくない行動を無視する。 → 好ましくない行動には否定的な言葉をかけたりせず、無視する(積極的にかかわらない)ことで、少なくして行く。
- ④ 効果的に指示を出す。 → 子どもにしてほしい行動を具体的に伝える。

では B 行動を次の3つに整理してみましょう。

好ましい行動	好ましくない行動	危険な行動
今、できていて、さらに増やしてほしいと思う行動 このまま続けてほしい行動	今、していて、減らしてほしい行動	許せない行動 人や物を傷つける行動 譲れないと感じる行動

実際に整理する際に「○○できない」「○○しない」と行動を見てしまうことがあります。この書き方だと、子どもが何をしているのかわからないので、動作を具体的に書くようにします。「手を洗わないで給食を食べる」「指示をしても座ったままている」などです。

以下のように、子どもの行動を3つに整理する練習をしてみましょう。ぜひ、実際にやってみてください。

好ましい行動	好ましくない行動	危険な行動
「おはよう」と挨拶する。	すぐに「助けて！」と叫ぶ。	友だちに向かって唾を吐く。
ランドセルをロッカーに片づけることができる。	友だちに「デブ」などと言う。	友だちを突き飛ばす。
給食は残さず食べる。	謝らずに「だって」と言い訳をする。	校舎の窓から身を乗り出す。
図書室で静かに過ごせる。	ノートの字が雑。	「死ね！」「殺す！」と言う。

子どもとうまく行っていないときは「好ましくない行動」「危険な行動」が目についてしまいます。リストアップすると、圧倒的にこの二つの数が多いかもしれません。でも、ティーチャーズ・トレーニングで私たちがすることは「好ましい行動」をほめることで増やしていき、自然に「好ましくない行動」「危険な行動」を減らして行くということです。次回ほめ方を学びます。